

守ろう！ 増やそう！ 市の魚アユモドキ救出作戦

国の天然記念物であるアユモドキは、環境省レッドデータブックの絶滅危惧種に指定されている希少な淡水魚です。全国でも数少ない生息地がある亀岡市は、地元の保津町自治会やNPO、京都府など関係機関と連携し、アユモドキの調査、保護活動に取り組んでいます。

アユモドキは、人のかかわり合いの中で生きてきた魚です。川の増水などで生じる一時的水域で産卵する習性が

あります。6月初め、農業用ダムが立ち上げられると、ダムの上流で水位が上昇し、氾濫原環境が現れ、そこで産卵を行うので

一方で、自力で遡上できないアユモドキがダム下流に取り残されます。そのため、ダム起立で濁水した下流

部に取り残されたアユモドキを人の手によって救出し、調査研究を行いながら繁殖の促進を図っています。
6月5日に行われた救出活



ダム下流での救出活動



1匹ずつ、手作業で救出

動では39匹を救出することができ、ダムの上流に放流するとともに、心無い密漁被害を防止するための監視パトロールが環境省、保津町自治会、京都府、亀岡警察署、亀岡市、亀岡市教育委員会によって実施されました。

亀岡市では今後もアユモドキの調査、保護活動を続け、アユモドキの保護・増殖に取り組んでまいります。



ダム下流で救出されたアユモドキ

オーストリア 共和国へ エールを 〜姉妹都市& ホストタウン〜



応援フラッグを作りました。

6月16日ガレリアかめおかにおいて、オーストリア選手(空手競技)への応援フラッグと手旗制作が行われました。これは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウン交流国であるオーストリア共和国の空手選手が、7月に神戸で開催される世界大学空手道選手権大会への出場に伴い、亀岡からエールを送ろうと今年度のホストタウン事業として実施したものです。

会場ではフラッグづくりのほか、亀岡市空手道連盟による空手演武の披露もあり、会場は大きく盛り上がっていました。皆さんも亀岡からオーストリア選手へエールを送りましょう！

京都スタジアム(仮称)を活用 シンボルプロジェクト キックオフ!!



多様な立場から意見を出し合います

亀岡市の目指す都市像を示した「第4次亀岡市総合計画(夢ビジョン)」の後期基本計画に基づく市民協働の取り組みである「シンボルプロジェクト」のキックオフ会議を、6月9日、亀岡市役所で開催しました。本プロジェクトは市民や事業者、行政が同じスタートラインに立ち、「京都スタジアム(仮称)」と京都・亀岡保津川公園を活かしたまちづくり」をテーマに企画・立案を行うものです。会議には約60人が参加し、自己紹介や実際に

今年度中は意見交換を進めながら企画を練り、平成31年度から実行を目指し取り組みます。

やさしい健康講座 第125回

市民の皆さんの健康に関して、今回は市立病院の医師が、専門分野についてアドバイスします。



亀岡市立病院 整形外科部長兼診療技術部長 久保 恭臣 専門分野 関節外科

人工関節手術について

健康な関節は、痛みを伴うことなく体重を支え、滑らかに動くことで、歩いたり、しゃがんだりなど、生活に必要な動作を可能にしています。この機能に最も大きな役割を果たしているのが関節の表面を被っている関節軟骨です。この関節軟骨が、加齢による変化や、関節リウマチの炎症などによって傷んでしまうと歩いたり、しゃが

んだりの動作時に痛みを生じるようになります。人工関節手術は、この痛んだ軟骨の機能を人工物によって補う手術です。股関節と膝関節の手術が一般的によく行われています。人工関節は金属、特殊なポリエチレン樹脂、セラミックなどからできています。人工関節の改良や手術手技の進歩などにより耐用年数が長くなり中高年の方への適応が広がり、麻酔の進歩によって高齢の方に対する適応が拡大されてきました。

関節の変形、痛みを改善する最終手段の人工関節手術、広く行われている手術ではありますが、ひとりひとりの関節の状態により適応を決める必要があります。股関節、膝関節の痛みで生活に支障のある方は、整形外科を受診していただければと思います。